

令和7年度 第3回 浜松市立籠玉中学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和7年12月15日(月) 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 浜松市立籠玉中学校 会議室
- 3 出席委員 澤木達治、渡邊剛一、鈴木斉、仲山旬子、黒飛三千子、阿部永、守田亜紀、入野元張(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 西尾孝治
- 5 オブザーバー 椛通安(籠玉協働センター)
- 6 学校 杉浦有美子(校長)、鈴木亮(教頭)、下田由実(教務主任)、新川優子(CSディレクター)、太田賢、大城光哉
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 新川優子(CSディレクター)
- 9 議長の選出 司会から、議長の選出について、澤木会長が受ける旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 2年生職場体験、1年生防災オリンピックについて(生徒代表)
- (2) 2学期の様子と来年度の学校経営方針について(杉浦校長)
- (3) 学校評価アンケートについて(教務主任)
- (4) 地域と中学生の関わりについて(鈴木教頭)

11 会議の記録

鈴木教頭から、委員総数9人のうち、8人の出席があるため、浜松市学校運営協議会規則(以下「規則」という。)により、会議が成立し、会議を開始する旨の報告があった。

澤木会長からインフルエンザの流行状況及び部活動の地域展開の話題に触れて挨拶、杉浦校長からは周辺地域での熊目撃情報発生時の対応に触れて挨拶があった。

第2回学校運営協議会の議事内容については、全員異議なくこれを承認した。

- (1) 2年生職場体験、1年生防災オリンピックについて(生徒代表)

2年生2名が職場体験を通して学んだことを、1年生が防災オリンピックについての感想を発表した。

○消防署見学の発表の中で心がどんよりするという発言があったが、誰の言葉か。(仲山委員)

また、それはどんな時か。(杉浦校長)

●消防士。一生懸命やっているのに命を救いきれなかったとき。(2年生代表)

- (2) 2学期の様子と来年度の学校経営方針について(杉浦校長)

先日本校で校長会が開かれ、他校の校長から全体的に落ち着いているとコメントをいただいた。

令和8年9月より休日の部活動が地域展開され「はまクル」が始動することに伴い、新入生には入学説明会で、現1年生には参観会で説明を行う予定。一部の種目では今後の活動の方向性が見えてきている。中体連については現在不明確な点がある。

全国学力調査と質問調査の結果からは、本校の生徒は将来の夢や目標を持っている者が多いものの、自分から何かをしようとする姿勢が低いことが報告された。

●ボランティアで校内の草刈りをしてくれた方がいたそうだが、父兄でやる機会はあるか。(仲山委員)

○ない。(杉浦校長)

野球部が部活後に父兄でやったことはある。(守田委員)

●体育館のトイレ工事(洋式化、扉の設置)の計画が進んでおらず、市からの返事待ちとのこと。市に何度も催促したほうがいい。避難場所のトイレにそぐわないので、自治会からも要望

を出すようにする。(渡邊副会長)

- 翔輝祭はすばらしかった。来年度は浜北文化センターでの実施を計画しているというが、今年と同様にサーラ音楽ホールでできないか。(仲山委員)
- サーラ音楽ホールの方が施設料は安い、交通費が発生することと昼食場所確保の問題がある。浜北文化センターの場合は自転車移動と考えているので交通費は発生しない。(下田教諭)
- 体育祭は当日の天候の関係でプログラムの変更があったが、それを知らない保護者がいた。前以て周知した方がいい。(守田委員)
- 講話を依頼した場合は報酬を渡すのか。(澤木会長)
- 講師料や手土産等を渡している。(鈴木教頭)

鈴木教頭から、いじめ発生件数と不登校生徒数の報告があった。11月末時点でのいじめ発生件数は97件で昨年度より12件多い。不登校生徒数は20名で、校外の施設に通う者もいるが、完全不登校の者もいる。

(3) 学校評価アンケートについて (下田教諭)

3年生の受験への意識の高まりやマイテーマ学習が保護者にも定着してきているように感じられる結果となった。全体的に生徒と教師にギャップが表れており、教師の評価が厳しい。保護者の回答率が高かった。

(4) 地域と中学生の関わりについて (鈴木教頭)

コロナ以降、中学生が地域と関わる機会が減っていることが問題提起された。

- 以前はボランティア活動が盛んで、生徒会中心に1～3年生が年2日間奉仕活動をしていたが、段々と縮小傾向になり、現在は1年生が半日活动するだけとなっている。時代にあった変化は避けられないが、ひと工夫して地域とつながる活動が必要ではないか。(大城教諭)
- 地域防災訓練に子供が多数参加していた。子供が参加してくれることで自治会側にも訓練方法を考えるいい機会になる。(渡邊副会長)
- 高校にボランティア部があり、高齢者向けのボランティアをしている。中学生で興味ある生徒を集めてみることはできないか。(渡邊副会長)
- 協働センターのイベントでボランティアを募集することもある。今後部活動の地域展開により土日に時間が空く生徒に期待したい。(椛オブザーバー)
- 資源回収は自分で持ち込むことが主流になっている。高齢者世帯の資源回収をしてあげたらどうか。(仲山委員)
- 防災オリンピックでは減災を意識した活動をしているが、防災コーディネーターを招いて避難所での暮らしについて学べたらいいと思う。(仲山委員)

12 その他報告事項等

・学校運営協議会自己評価について

年明け頃までに提出(郵送の場合は1/12頃までにポストに投函)を依頼した。

・今後の予定

司会から、次回会議は2/10(火)13時30分から開催する旨の連絡があった。